

2023年6月27日

第46回定時株主総会 質疑応答概要および事前質問へのご回答

株主総会における質疑応答概要

株主総会における、株主さまとの質疑応答の概要について、ご報告申し上げます。

【質問①】

自社株買いは考えているのか

【回答】

現時点において、自社株買いは考えておりません。

東証スタンダード市場の基準に確りと準拠したうえで、引き続き、企業価値向上に努めて参りたいと考えております。

【質問②】

1,000万円以上を融資したお客さまが返済をできなかった場合、一括での返済を求めないのか。

【回答】

現状、1,000万円を超える融資は行っておりません。

貸金業法上、年収の1/3を超える融資はできません。従いまして、1,000万円の融資を行う場合、年収3,000万円を超える方が融資対象となりますが、その層は当社のターゲットとは異なります。

【質問③】

女性取締役の登用は検討しているのか。

【回答】

取締役候補者の指名方針に該当する人材がいれば、取締役候補者として指名する考えは持っております。社内においては、管理職等の中核人材が経験を重ね、将来的には取締役候補者として指名できればと考えております。

また、社内外を問わず、当社の取締役の実効性を高められる人材がいれば、積極的に登用する考えでございます。

事前質問へのご回答

株主総会に先立ち、お寄せ頂いた事前質問のうち、株主の皆さまのご関心が高いと思われる事項についてご回答申し上げます。

【質問①】

社長がよくおっしゃっている、お客さまの「今欲しい」「今したい」というニーズに応えるため、既存ビジネスのキャッシュレス化対応に取り組まれているが、それだけでは、既存のカード会社やQR決済の後払い会社などとの差別化が図れないと考える。キャッシュレス化の先にあるアコムの特徴を伺いたい。

【回答】

当社は、お客さまの「今したい」「今欲しい」というニーズに、より快適で利便性の高いサービスでお応えするため、バーチャルカードの提供やApple Pay、Google Payへの対応などを推進しております。

加えて、新たな金融サービスであるエンベデッド・ファイナンスの展開を目的に、昨年4月にGeNI E株式会社を設立しました。金融機能を持たない企業と提携し、その提携先のサービスに金融機能を組み込むことにより、提携先のお客さまの「今したい」「今欲しい」というニーズにも、お応えしていきたいと考えております。

【質問②】

現在の国内マーケットを見ると、既存のビジネスだけでは今後の大きな成長・飛躍は期待できないと考える。富裕層など、現在のターゲット層以外にも、開拓余地があると考えられるが、既存のビジネス以外への参入・投資についての考えを伺いたい。

【回答】

当社は、現在の中期経営計画を、中核3事業の事業領域拡大に向け、布石を打つ3カ年と位置付けております。

ローン・クレジットカード事業では、GeNI E株式会社を設立し、新たな金融サービスであるエンベデッド・ファイナンスの展開に取り組んでおります。

また、信用保証事業では、今年3月にLINE Credit株式会社との業務提携を開始し、これまでの金融機関に加え、事業会社との保証提携を推進しております。

海外金融事業においては、マレーシアでの事業開始を目指すなど、新たな国への進出に取り組んでおります。

今後も、新たな金融サービスの提供など、更なる事業領域拡大に取り組んでいきたいと考えております。

【質問③】

利息返還請求の現状と今後の業績に与える影響について伺いたい。

【回答】

2023年3月期の利息返還請求件数は、前期比10.2%減少となりました。

また、2024年3月期の請求件数は、前期比15%程度の減少を予想しており、今後も利息返還請求は減少基調が続くと考えております。

しかしながら、利息返還請求は、外部環境の変化、特定法律事務所の広告活動等の影響を受けやすいことから、引き続き、動向を注視してまいります。

【質問④】

多くの企業が、配当性向50%や株主優待の新設、自社株買いなど進めている中、今後の目標とする配当性向はどの程度か伺いたい。

【回答】

現在の中期経営計画における「配当の基本的な考え方」は、「高い収益力と適正な自己資本のもと、株主還元の拡充を図る」としており、中期経営計画の最終年度である、2025年3月期末の、連結総資産に信用保証残高を加算して算出した自己資本比率は25%、ROE10%、配当性向は、35%を目指しております。

今後も引き続き、更なる株主還元の拡充など、企業価値向上に努めてまいりたいと考えております。

以 上